

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点・郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む	①深い学び②一領域の協働③地域生活と協働④生きる力を育む	笑顔いっぱい江名子の子【児童も教職員も登校するのが楽しみな学校】	挑戦する力、願いをもって試行錯誤をしてやりぬく力	学習づくり	① 興味・関心を引き出す課題提示や問いかけ	・既習事項と異なる事象の提示、児童の興味や疑問をもとに課題につなげる課題提示の工夫をする。	B	・ペアやグループ学習を積極的に取り入れ、児童が自然に対話できるように試みることで、教師主導の教授式から、児童同士が学び合う姿が増えた。 ・「仲間と対話をしながら学習することで問題が解決できるなどのよさを感じたか」という問いに対して、「はい」と回答した児童が77.8%である。 ・児童同士の対話や学び合いに教師が意図を明確にして授業づくりをすることが課題である。 ・生活科県大会に向けた取組において、児童の自己評価について研究し取り組んだ。赤白帽子やタブレットを使い、「目標が達成できた」「課題が見つかりもっと取り組みたい」の2択で評価し、次の授業につなげることができた。他の教科や発達段階に応じた評価を行うことが今後の課題である。
					① 効果的な一人学びと仲間学びの設定	・追究の過程で個人やペア、グループ学習を効果的に取り入れる。 ・話し合いの道筋を明確にし、交流活動に必然性をもたせる。	A	
					① 学びの成長が実感できる評価の工夫	・児童が明確に評価できる観点を示し、自分自身の成長を実感させる。	B	
				生活づくり	② 自分たちの生活をより良くする方法を考える場の設定	・課題を見つけ、活動を工夫して実践できるように児童会活動を指導する。	B	
					② 仲間のがんばりに気づかせる工夫	・児童は、仲間のよさを見つけ、伝える活動をする。 ・よりよい生活にするために考えさせる場を設定する。 ・児童の活動にある意味や値打ちを指導する。	B	
					② 自己肯定感や貢献感を実感させる場の設定	・「自分にはよいところがある」「自分は仲間の役に立っている」という実感をもたせる工夫をする。	A	
				郷土	③ えーなこの町 ～見て・聞いて・知って・やってみよう～	・地域の文化や人材を生かし、発達段階に応じて体験学習を行う。 ・開校150周年記念やパラリンピック年の特色を活かしたカリキュラムを編成して指導する。	A	
				職員	④ 危機管理研修の充実と組織的な対応、業務改善の推進	・複数の職員が連携し、未然防止から事後指導まで迅速かつ誠意をもって対応する。 ・自分の分掌において、過年度のものを改善して見通しのある提案をする。	A	

学校運営協議会における主な評価内容

・グループ学習を取り入れ、児童が対話しながら主人公となって学んでいる。
・どのような学習形態であっても、教師が児童の目を見て何を思っているかを感じる教師力をつけてほしい。
・150周年記念行事や生活科県大会の会場校として、児童も教師も「挑戦」する実践ができ、学校外でもよい評判が聞けたことがうれしい。